交流学習

広州日本人学校では、「つながり」を大切に教育活動を行なっています。今回は、中国とのつながりを重視した交流学習をご紹介します。

東風東路小学との交流（小学部）

11月24日、広州日本人学校小学部は東風東路小学との交流を行いました。この交流学習では、同じ年齢の中国人の子供との交流を通して身近な異文化に触れることで、中国の文化にさらに興味をもてるようにすることや、学んでいる中国語や英語を使おうとすることをねらいとして実施されました。今回は、広州日本人学校が東風東路小学に訪問しました。到着した時は、緊張気味の子供たちでしたが、活動を共にしている間に、自然にコミュニケーションが生まれ、「英語で名前を聞いたよ。」「謝謝と言えたよ。」「友達になったよ。」と話していました。身振り手振りを使って、自分の思いを伝えようと頑張っている姿も見られました。

新しい文化に触れること、交流するよさを共に感じ、笑顔あふれる時間となりました。

大連民族大学との交流会（中学部）

12月6日に中学部と大連民族大学の交流会を実施しました。中学部の生徒たちは中国語で、大連民族大学の大学生たちは日本語を使ったオンライン交流会です。

自己紹介から始まり、お互いの国の好きなところや自分たちの故郷について伝え合い、その後、スリーヒントクイズを出し合いました。交流する中で、互いの趣味の一致を感じ、盛り上がった場面もありました。

事前準備にも時間をかけて臨んだ交流会でした。それだけに学んだことが活かせる喜びや嬉しさを感じ、言語は違っても交流できる楽しさで、充実した時間となりました。